

キャラクター名  
野田 純矢

プレイヤー名

シンドローム	バロール モルフェウス		ワークス	暗殺者	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	15	性別	男
覚醒	忘却	衝動	飢餓	初期侵食率	43	%
出自	父親の不在	経験	ニュース	邂逅	家族	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	45
肉体	1	0	0			1	行動値	10
感覚	3	1	0			4	(非装備時)	10
精神	2	0	0			2	戦闘移動	15
社会	2	0	0			2	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚			意志	3		調達		
運転:	2		芸術:			知識:	2		情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
肉体(必中の弓)	射撃	4r+11				
		0				
	射撃	8r+11				11+2d

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	
思い出の品	
デモンズシード	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
遺産継承者:必中の弓	P 執着	N 恐怖		
家族	P 誠意	N 劣等感		
駒割言葉	P 幸福感	N 嫌気		
	P 信頼	N 憎悪		
	P 親近感	N 憤懣		
	P 友情	N 不快感		
	P	N		

最大財産P: 4    残り財産P: 21

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
拒絶領域	4	-	常時	至近	自身	-		
効果:	暴走中、HPダメージ-lv*5							
グラビティテリトリー	3	-	常時	至近	自身	-		
効果:	最大HP+lv*7							
黄金錬成	2		常時	至近	自身	-		
効果:	常備化ポイント+lv*10							
	1							
効果:								
コンセプト:バロール	3	2	メジャ	-	-	-		
効果:	C値-lv							
瞬速の刃	3	3	メジャ	武器	-	対決		
効果:	ダイス+[lv+1]							
黒の咆哮	3	4	メジャ	-	-	-	80%	
効果:	ダイス-2、攻撃力+[lv*4]							
怨念の呪石	2	3	セット	至近	自身	自動		
効果:	暴走、シーン中攻撃力+2D							
ペネトレイト	1	3	メジャ	武器	-	-		
効果:	ダイス-1、装甲無視							
	1							
効果:								
孤独の魔眼	1	4	オート	視界	効果参照	-		
効果:	範囲+選択の対象を単体化しあなたにする							
紡ぎの魔眼	1	1	オート	至近	自身	-		
効果:	判定の直前に使用、ダイス+lv							
時の棺	1	10	オート	視界	単体	-		
効果:	判定の直前に使用、自動失敗にする							

学生生活を送る中で部活は非常に重要だ。3年間という短い期間の大部分を占める要素であり人間関係も部活動を通じて形成されることがほとんどだ。よって、部活選びは高校生活の中で非常に重要度の高い選択であるといえる。

そんな大事な部活選びだが、部活の雰囲気は名前を見ただけではわからない。野球部だからといって誰しもが甲子園を目指して熱血しているわけではないように、耳慣れない部活だからといって力を入れていないとは限らないのだ。

ならば部活選びで何をすればいいの、答えは簡単、見て聞いてわからないのであれば体験すればいいのである。

この男、野球、サッカー、バレー、アメフト、ボウリング、ハンドボールなど多くの種目で体験に参加し異常な成績を残した。特に陸上、やり投げでは100mという長大な記録を叩き出し、野球ではイチローばりのレーザービームを、サッカーではゴールからゴールに直接ボールを投げてシュートした。あほちゃう？当初は2~3個部活体験してみようくらいの気持ちであったが、うちもうちも引っ張りだこになり、あげく分単位でのスケジュールを知らぬ間に組まれ、殆どの部活に体験入部することになった。

結果この男の部活動体験はSNSで拡散され、多くの学生の心をへし折り嫉妬と羨望の眼差しを集めることになる。

「俺って、もしかして天才？」そんな勘違いも許してあげてほしい。

もちろん拡散された動画はバッチリUGNに補正され3時間後には住所まで特定された。当然だね。

翌日朝、玄関で待ち構えていた黒スーツの集団にスカウト(という名の強制連行)をくらい転校の手続きをうこととなる。

前日までの記録は全て抹消され、SNSが上がっていた動画も全てきれいさっぱりなかったことにされていた。

せっかく勉強して高校に入ったのに、強制的に転校！しかも試験すらないとかどういことだ！俺の努力をカエせ！！！

髪はなんか入学前に伸びました。切っても伸びてくる不思議、成長期かな？

夢がちな男の子。誰しも自分が特別だって思いたくなることってあるよね。不真面目な人間ではないがチャランポランというかテキトーというか。必要のないことは必要になるまでしなくていいでしょといった感じで夏休みの宿題を最後1週間ちょいで仕上げるタイプ。自分から何かをするといったことがあまりなく、勧められた物を見たり聴いたり、といった感じで広く浅い知識を日々増やしている。

得意なことは料理とマッサージ。いつも疲れて帰ってくる母親に変わってご飯を作ったり、ガタガタになった肩やら背中やらをほぐしたりしているうちに上達し

